



岡崎葵ライオンズクラブ



第1057回例会 定例会場
3月14日(金)

浦野会長挨拶

旬の山菜取りについて、
秘話を面白おかしく話された。

今日の誕生祝い



左からL太田、L浦上、L岡田、L内田、L李、(欠)L佐藤

冬季YCE派遣生の帰国報告



山本理沙様

クラブ全員にマレーシアの地土産を
頂きました！

新事務員さんの紹介



氏名	山本 理沙	ID No.	ML/23	スポンサーLC	岡崎葵ライオンズクラブ
派遣先	マレーシア	期間	12/20～1/9		

12月20日から約一ヶ月間マレーシアに派遣していただきました。マレーシアでの生活は毎日が刺激的で、日本と異なる文化、習慣に驚かされる日々でした。このような貴重な機会を与えて下さったライオンズクラブの皆様に感謝しています。

生活の拠点となったのは、マレーシアの首都であるクアラルンプール(KL)でした。KLは日本と言う東京のような場所でも、高いビルが立ち並び、発展が目覚ましい場所でした。日本と異なる点は、このような発展した場所でも、鉄道、電車と言った交通機関が隔々まで行き届いていないところがあります。そのため、普段の移動手段として、自動車が使われています。自動車は各家庭に少なくとも一台、所有しているのが一般的でした。また、道路状況を見ると、道路の様々な場所に出っ張りがあり、スピードを出し過ぎないように施されていました。車高が低い車は傷つきやすいので、日本と比べて所有している人は少ないのではないかと思います。加えて雨が降ると、道路の一部が陥没することもあり、雨が上がった後のドライブで、おしりが痛くなることもありました。また、道路脇に駐車してもよいスペースが設けられており、その駐車スペースをめぐる、軽く渋滞が起きることもありました。国が発展している一方で、このように人々の生活に直接関わる部分が十分に整備されておらず、今後どのように変わっていくのか注目していきたいと思いました。

生活面で特に驚いたことは、マレーシアでは一日五食という習慣があるということでした。朝食、ランチ、昼食、夕食、夜食と常に何かを口にしている日々でした。マレーシアには、マレー人、中国人、インド人と様々な国の人々が住んでおり、文化が進めば使用される言葉も違いました。私のホストファミリーは中華系だったので、英語ではなく、中国語で会話していました。ライオンズクラブに所属している中で、中華系の人々が特に多く、英語が満足に話せない私にとって、とても幸せなことでした。中国語と言っても、広東語、福建語が混ざっており、中国の標準語である北京語とは異なる言い回しがあります。これまで北京語しか勉強したことがなかったので、新しい言い回しを聞く度に、自分の中で中国語の語彙が増えていくのを感じました。ホストファミリーが働いている場所に一度お邪魔したことがあるのですが、そのときマレーシアでの幼児教育というものを見ることができました。ホストファミリーは、幼稚園でマレー語、算数などを教えています。マレーシアでは小さい頃から、マレー語、中国語、英語を学んでおり、この三ヶ国語ができて初めてマレーシア人と認識されるのだと教えてくれました。隣のシンガポールでは、マレー語に加え、親の家族により、中国語、英語、インド語のどれか一つを選び、学ぶそうです。したがって、マレーシア人に生まれた子供は小さい頃から、勉強に励んでいるということです。幼稚園に行き、実際にそれを見たことで、私の中の勉強意欲も刺激され、良い体験になりました。

マレーシアで過ごした約一ヶ月間は、これからの私の人生をより明るくさせるものとなるでしょう。マレーシアで出会った人々、一緒にマレーシアに派遣された日本人の仲間たち、全てを支えて下さったライオンズクラブの皆様から心から感謝しております。本当にありがとうございました。



第1058回例会 八丁魚光
3月28日(金)

蒲野会長挨拶

メンバー全員に山菜を配られました。
天ぷらで頂きました。御馳走様です。



ウィ・サーブ
L. 浅井



ソング・リーダー
L. 加藤

花見の宴



ライオンズ・ローア
L. 梅本



趣味の会報告

ゴルフ同好会 3月20日(木)

額田ゴルフ倶楽部にて開催



準優勝 L. 加藤賢二



優勝 L. 石田英雄